

「北海道近現代史研究会」の活動状況について

2019年8月15日は「北海道命名150年」の節目に当たり、これを契機に蝦夷地・北海道史の探求への関心が道内でも高まっています。

こうしたなか、当研究所でも、2019年度より、北海道の近現代史に関する研究会を設置し、近世期以降の蝦夷地・北海道の地方自治および社会インフラの整備などに関する調査・研究に着手しました。

2019年度は、次年度以降の研究会としての活動のスタートに向けた準備期間と位置づけ、「北海道史研究プロジェクト」の仮称のもと、主に基本的な情報収集に取り組みました。

2020年度からは、研究会名を「北海道近現代史研究会」と決定し、活動を本格化させるとともに、行政機構の変遷、アイヌ民族の近世・近代史、ロシアを中心とする諸外国との関係を基軸として、北海道の近現代史の多角的な調査・研究を進めています。

本研究会の2019～22年度の活動は以下のとおりです。

【2019年度】

(1) 旭川市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年7月15日（月）
- 視察先 北鎮記念館／兵村記念館／旧永山戸長役場／川村力子トアイヌ記念館／旭川市博物館 ほか

(2) 第1回学習会

- 日 時 2019年7月29日（月）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「北海道150年と地方自治－医師で開拓者（陸別）・関寛斎の足跡を辿ってみえること」
講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授）

→ 本学習会の内容は、所報2019年9月号（第608号）に掲載。
竹中英泰「関寛斎の足跡から見える明治の北海道」

(3) 第2回学習会

- 日 時 2019年8月3日(土) 15:00~17:00
- 会 場 北海道自治労会館 5F 第3会議室
- 内 容

講演「アイヌ文化と北海道」

講師：本田優子 氏(札幌大学教授)

→ 本学習会の内容は、所報2020年1月号(第612号)に掲載。
本田優子「アイヌ文化と北海道」

(4) 小樽市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年9月18日(水)
- 視察先 小樽市公会堂／小林多喜二文学碑／旭展望台／
JR小樽駅周辺の歴史的建造物／小樽市総合博物館本館／
小樽市鯉御殿 ほか

(5) 第3回学習会

- 日 時 2019年10月11日(金) 15:30~17:30
- 会 場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内 容

講演「北海道150年の光と影～「開拓」と“地方自治”をめぐる」

講師：谷本晃久 氏(北海道大学大学院教授)

→ 本学習会の内容は、所報2020年3月号(第614号)に掲載。
谷本晃久「北海道150年の光と影－「開拓」と「地方自治」をめぐる」

(6) 札幌村郷土記念館の視察・ヒアリング

- 日 時 2019年11月20日(水) 14:00~15:00
- 会 場 札幌村郷土記念館 1Fロビー
- テーマ 札幌村郷土記念館の設立経緯、展示物の概要、運営体制・事業の現状
- 対応者 玉井晶子 氏(札幌村郷土記念館保存会 事務局長)
山田治仁 氏(札幌村郷土記念館 館長)

→ 本ヒアリングのレポートは、所報2020年5月号(第616号)に掲載。
正木浩司「大友亀太郎の事績と札幌村の生活史を伝える
－「札幌村郷土記念館」を訪ねて」

【2020年度】

(1) 第4回学習会

- 日 時 2020年7月17日(金) 13:00～16:00
- 会 場 旭川市まちなか市民プラザ・会議室1
(旭川市1条通8丁目108 Feeeal 7 F)
- 内 容
講義「近世の蝦夷地における日露関係についてーラクスマンおよびレザノフの
来航を中心に」
講師：竹中英泰 氏(旭川大学名誉教授／当研究所理事)

→ 本学習会の内容は、所報2020年9月号(第620号)に掲載。
竹中英泰「近世期の蝦夷地における日ロ関係史について
ー現代の北海道の地方自治との関わりを中心に」

(2) 第1回現地視察

- 日 時 2020年8月5日(水)～8日(土)
- 訪問地 函館市、松前町、江差町、木古内町
- 主な視察先
 - ・ 函館市(1日目・4日目)
碧血碑／函館市立博物館本館／高田屋嘉兵衛銅像／旧ロシア領事館／
函館ハリストス正教会／北海道坂本龍馬記念館／五稜郭跡 ほか
 - ・ 松前町(2日目)
松前藩屋敷／寺町エリア／松前城天守閣(資料館)／松前町郷土資料館／
国鉄旧松前線松前駅跡 ほか
 - ・ 江差町(3日目)
旧関川家別荘／旧中村家住宅／江差町郷土資料館／旧江差線江差駅跡 ほか
 - ・ 木古内町(3日目)
木古内町郷土資料館(いかりん館)

→ 本視察のレポートは、所報2020年11月号(第622号)に掲載。
・ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第1回現地視察レポート
ー函館市・松前町・江差町を訪ねて」
・ 三輪修彪「アイヌモシリの行方と松前」

(3) 北海道労働文化協会主催「第41回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2020年9月26日(土) 9:00～17:00
- テーマ さっぽろ文化遺産の再発見
- 訪問地 札幌市中央区・南区・東区

- 主な視察先
北電藻岩発電所と藻岩犠牲者の碑／石山緑地（石山軟石採掘所跡）／
旧石山郵便局（ぼすとかん）と定山溪鉄道・石切山駅跡／北海道鉄道技術館／
札幌村郷土記念館とその周辺（本龍寺、大友公園）
 - 特別講演「札幌の文化財」（講師＝山川伸也・札幌市職員）
- 本件のレポートは、所報2021年1月号（第624号）に掲載。
正木浩司「文化遺産の視察を通じて札幌の近代史を学び直す
－「第41回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

（４） 第5回学習会

- 日 時 2020年10月28日（水）15:00～17:10
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」
講師：小田 清 氏（北海学園大学名誉教授）

- 本学習会の内容は、所報2021年1月号（第624号）に掲載。
小田清「北海道開拓から開発へ
－産業資本の移植・形成からその特徴を考える」

（５） 第2回現地視察

- 日 時 2020年11月5日（木）～7日（土）
- 訪問地 北見市、佐呂間町、美幌町、網走市
- ガイド 中川 功 氏（元留辺蘂町職員）－北見市留辺蘂町地区のみ
- 主な視察先
 - ・ 北見市（1～2日目）
常紋トンネル工事殉難者追悼碑・殉職者之墓／真言宗白竜山遍照院／
北光八幡神社（坂本直寛顕彰碑ほか）／ピアソン記念館／
北網圏北見文化センター／端野町歴史民俗資料館／鎖塚の区域／
ところ遺跡の森 ほか
 - ・ 佐呂間町（2日目）
栃木神社（開基五十周年記念碑ほか）／佐呂間町開拓資料館
 - ・ 美幌町（3日目）
美幌博物館
 - ・ 網走市（3日目）
博物館網走監獄／道立北方民族博物館／モヨロ貝塚館／網走市立郷土博物館

- 本視察のレポートは、所報2021年3月号（第626号）に掲載。
正木浩司「北海道近現代史研究会・第2回現地視察レポート
ー北見市・佐呂間町・網走市を訪ねて」

(6) 第6回学習会

- 日 時 2021年2月26日（金）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「アイヌの景観史」
講師：瀬川拓郎 氏（札幌大学教授）

- 本学習会の記録は、所報2021年5月号（第629号）に掲載。
瀬川拓郎「アイヌの景観史ー上川盆地の地形・生態系適応の歴史を例に」

【2021年度】

(1) 第3回現地視察

- 日 時 2021年10月13日（水）～16日（土）
- 訪問地 根室市、厚岸町、標茶町、釧路市、鶴居村
- 主な視察先
 - ・ 根室市（1～2日目）
ノッカマフ1・2号チャシ跡／根室市北方領土資料館／望郷の岬公園／
納沙布岬灯台／道立北方四島交流センター／根室国後間海底電信線陸揚施設／
ラクスマン来航記念碑「歴史の然」／根室市歴史と自然の資料館 ほか
 - ・ 厚岸町（2日目）
厚岸町海事記念館／厚岸神社／厚岸町郷土館／蝦夷三官寺・国泰寺跡／
厚岸町太田屯田開拓記念館 ほか
 - ・ 標茶町（2日目）
標茶町博物館ニタイ・ト／北海道集治監釧路分監本館（復元） ほか
 - ・ 釧路市阿寒（2～3日目）
阿寒湖の森ナイトウォーク「カムイルミナ」／まりも観察センター／
阿寒湖畔エコミュージアムセンター／阿寒湖アイヌコタン ほか
 - ・ 鶴居村（3日目）
「雪裡発祥の地」の石碑
 - ・ 釧路市（3～4日目）
鳥取神社・鳥取百年館／マリン・トポスくしろ／釧路市立博物館 ほか

- 本視察のレポートは、所報2022年3月号（第638号）に掲載。
正木浩司「北海道近現代史研究会・第3回現地視察レポート
－根室市・厚岸町・標茶町・釧路市を訪ねて」

(2) 第7回学習会

- 日 時 2021年10月15日（金）16:00～18:00
※ 上記第3回現地視察の実施期間中に釧路市内で開催。
- 会 場 釧路市生涯学習センターまなぼっと 7F 学習室703
- 内 容
講演「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」
講師：岩崎守男 氏（元樺太連盟釧路支部長）

- 本学習会の記録は、所報2022年3月号（第638号）に掲載。
岩崎守男「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」

(3) 第4回現地視察

- 日 時 2021年10月29日（金）
- 訪問地 石狩市、当別町、月形町、浦臼町、奈井江町、三笠市
- 主な視察先
 - ・ 石狩市
聚富開拓之碑／伊達邦直主従北海道移住の地碑
 - ・ 当別町
伊達記念館・伊達邸別館／当別神社
 - ・ 月形町
篠津山霊園・樺戸監獄死亡者之碑／月形樺戸博物館／曹洞宗北漸寺 ほか
 - ・ 浦臼町
坂本龍馬家の墓／浦臼町郷土史料館
 - ・ 奈井江町
伊達邦直公上陸之地碑
 - ・ 三笠市
旧空知集治監典獄官舎レンガ煙突跡

- 本視察のレポートは、所報2022年9月号（第644号）に掲載。
正木浩司「北海道近現代史研究会・第4回現地視察レポート
－石狩北部・中空知・南空知を訪ねて」

(4) 北海道労働文化協会主催「第42回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2021年10月30日(土) 9:00~17:00
- テーマ さっぽろ開拓の歴史をたどる
- 訪問地 札幌市西区・手稲区
- 主な視察先
五天山公園・水車小屋／手稲山口バツタ塚／山口運河／発寒神社／春日緑地／
琴似屯田兵村兵屋跡／琴似神社／屯田の森
- 特別講演「札幌の屯田兵」(講師＝山川伸也・札幌市職員)

→ 本件のレポートは、所報2022年1月号(第636号)に掲載。

正木浩司「札幌開拓の残照を西区・手稲区に辿る

－「第42回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

(5) 紋別市の現地視察

- 日 時 2021年12月26日(日)
※ 外国人共生研究会の紋別市視察(12月27日)に合わせて実施。
- 視察先 紋別市立博物館、紋別巖島神社

【2022年度】

(1) 岩崎守男氏所蔵の資料の扱いに関する会議

- 日 時 2022年4月5日(火) 13:00~15:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
 - ・ 課題提起「北海道近現代史における強制労働関係資料の調査について」
提起者：岩崎守男氏(元北海道議会議員)
 - ・ 意見交換
研究会委員4名、岩崎守男氏、舟山廣治氏(元北海道議会議員)

(2) 第5回現地視察

- 日 時 2022年7月1日(金)
- 訪問地 江別市
- 主な視察先
江別神社／開村記念碑／火薬庫(屯田兵第三大隊本部跡)遺構／
江別市郷土記念館／千古園／錦山天満宮／江別市屯田資料館／
湯川公園内・野幌屯田兵屋(復元)／酪農学園大学／道立文書館／
市営墓地やすらぎ苑内・樺太移住旧土人先祖之墓／榎本公園

- 本視察のレポートは、所報2023年1月号（第648号）に掲載。
正木浩司「北海道近現代史研究会・第5回現地視察レポート
－江別市を訪ねて」

(3) 北海道立文学館・企画展の観覧

- 日 時 2022年7月22日（金）
- 内 容 企画展「地図と文学の素敵な関係」

(4) 第8回学習会

- 日 時 2022年12月7日（水）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
講演「北方領土返還運動交渉史について－根室市の視点から」
講師：本田良一 氏（北海道新聞社編集局編集委員）

- 本学習会の記録は、所報2023年3月号（第650号）に掲載。
本田良一「北方領土返還運動の歴史と今後の展望－根室の視点から」

(5) 第6回現地視察

- 日 時 2022年12月9日（金）～11日（日）
- 訪問地 伊達市、室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市
- 主な視察先
 - ・ 伊達市
有珠善光寺跡／バチラー夫妻記念堂／伊達神社
 - ・ 室蘭市
崎守神社（東蝦夷地南部藩陣屋跡 台場・勤番所跡）／
室蘭市民俗資料館（とんてん館）／東蝦夷地南部藩モロラン陣屋跡／
中嶋神社内・輪西屯田兵旧火薬庫跡・記念碑
 - ・ 登別市
登別市郷土資料館／刈田神社内・片倉家主従開拓記念碑／
知里幸恵 銀のしずく記念館／知里真志保の碑／富浦墓地内・知里幸恵の墓
 - ・ 白老町
白老アイヌ民族記念広場／民族共生象徴空間（ウポポイ）／白老八幡神社／
仙台藩白老元陣屋資料館／白老仙台藩元陣屋跡
 - ・ 苫小牧市
八王子千人同心関係者の墓／勇武津資料館／開拓使三角測量勇払基点跡

→ 本視察のレポートは、所報に掲載予定（掲載号未定）。

(6) 第3回現地視察・補足視察

- 日 時 2023年2月18日（土）
- 訪問地 釧路市
- ガイド 岩崎守男 氏（元北海道議会議員）
- 主な視察先
米町公園／釧路國一之宮 厳島神社／佐野碑園内・久寿里会所の跡石碑／
市営紫雲台墓地内・太平洋戦争強制労働犠牲者慰霊碑／太平洋炭礦 炭砒展示館
／釧路市立博物館／鳥取県土族移住之地碑／J R 大楽毛駅前・日本釧路種像／
鳥取神社内・鳥取百年館／釧路市・鳥取町合併記念碑

→ 本視察のレポートは、所報に掲載予定（掲載号未定）。

(7) 第9回学習会

- 日 時 2023年3月27日（月）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 4F 第5会議室
- 内 容
講演「北海道の地理的条件と地政学」
講師：押谷 一 氏（酪農学園大学名誉教授）

→ 本学習会の記録は、所報に掲載予定（掲載号未定）。

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上